

2018年度決算説明会における主な質疑応答

※ 説明会での質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、簡潔にまとめております。

【会社全体に関するご質問】

<福ビル街区建替プロジェクトについて> (決算説明会資料P23参照)

Q 今後のリーシングを含めた見通しを確認したい。

A 福岡ビルは2019年4月に閉館し、2024年春の開業に向け、解体および新ビルの建築工事を始める。その間、福岡市では人口の増加、福岡空港の施設整備に加え、ウォーターフロントや箱崎九大跡地などの開発により都市の成長が進む。福ビル街区建替プロジェクトはその中心にあり、優位に進めていけると考えている。

<福岡空港特定運営事業について> (決算説明会資料P24参照)

Q 福岡空港特定運営事業が利益貢献するまでの見通しについて伺いたい。

A 2025年度の増設滑走路の供用開始まで利益貢献は厳しいと考えているが、混雑していない時間帯の利用客の増加施策や、バスなどの二次交通の整備による搭乗率の向上など、関連する事業で改善の余地がある。

<第15次中期経営計画について：主なセグメント別営業収益・営業利益> (決算説明会資料P38参照)

Q ホテル事業で減益となる要因について伺いたい。

A 本中計期間はバンコクや国内の新規ホテルでの開業費用の発生により、年間6億～8億円の費用増があり、2021年度は若干の減益となる。新規ホテルの稼働が本格化する次期中計期間中から利益貢献があると考えている。

Q 住宅事業で増収・増益となり利益率も向上する見込みだが、首都圏でのマンション事業拡大の見通しについて伺いたい。(決算説明会資料P27参照)

A 一件毎に事業性を見極めながら開発を進め、首都圏で一定程度の規模を保ちたいと考えている。本中計期間の供給計画については、ほぼ仕入れに目途がついており、実現できると考えている。

Q 国際物流事業で大幅に増収となるのに対し、利益が微増となる要因について伺いたい。

A 事業の根幹となる人の確保、定着のための待遇改善によるコスト増を見込んでいる。

【各事業に関するご質問】

<バス事業に関して>

Q バス事業で乗務員不足などによる稼働減少とのことだが、乗務員不足の見通しについて伺いたい。

A 乗務員不足という構造は続くと考えており、お客様にご迷惑をかけずに効率的な運行ダイヤを組むことが最も重要であると考えている。ICカードの利用データも活用し、適正なダイヤ作成により、全体として効率的な運営に努めたい。

<国際物流事業に関して>（決算説明会資料P42参照）

Q 米中貿易摩擦の影響などにより電子部品や半導体の取扱高が減少しているが、西鉄グループへの影響について伺いたい。また、2019年度の取扱高の見通しについても伺いたい。

A 足元では、米中貿易摩擦の影響などにより、特に日本発の電子部品および半導体の取扱高が減少しており、中国での生産減少の影響は大きい。一方で、中国から生産拠点の移管が見込まれる東南アジアなどの国や地域での取扱高の増加に努め、2019年度は全体では増加を見込んでいる。

以上